

## コラム

### 🌲 里山再生コラム：なぜ今「光を入れること」が必要なのか？

「奥萩谷の森」再生プロジェクトの最初のステップは、木を切ること（間伐・除伐）から始まります。「木を切るのかわいそう」と思われるかもしれませんが、実はこれが\*\*森を救うための「手術」\*\*なのです。

#### 1. 「緑の砂漠」からの脱却

手入れが止まった森は、木々が密集し、傘のように空を覆い隠してしまいます。すると、地面には一切の光が届かず、新しい草花や広葉樹の苗が育たない「緑の砂漠」と化してしまいます。私たちが光の道を作ることで、眠っていた土壌が目覚め、多様な命が再び動き出します。

#### 2. 土を強くし、災害に強い山へ

光が届かない山の地面は、根が十分に張れず、大雨が降ると土砂崩れを起こしやすくなります。適切な間伐を行うと、残った木々が大地に深く根を張り、下草が地面をしっかりとガードするようになります。これが、私たちが目指す\*\*「周囲の山主の見本となる、災害に強い強い山」\*\*の土台となります。

#### 3. 「奥萩谷」本来の美しさを取り戻す

かつての里山は、適度に人の手が入り、木漏れ日が揺れる明るい場所でした。「奥萩谷の森」を再びそんな風景に戻すために、私たちは一本一本の木と対話しながら、慎重に光の量をコントロールしていきます。

ビフォー



アフター

